

第20回平成27年度立正大学橘会

奨励賞決定

最優秀賞

経済学部林ゼミナール3年生

(丸衣季・鈴木一聡・野田郁哉・宮本歩美・和田総一郎 5名)

経済学部林ゼミナール所属学生5名は、NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ協会主催による第6回「FP向上のための小論文コンクール」に於いて、共同執筆した小論文「奨学金制度改革とパーソナルファイナンス教育」によって「優秀賞」を受賞しました。大学の教員や専門家が応募するコンクールで彼らが「優秀賞」を獲得したことは、本学における課題解決型学習(PBL)の成果が認められた快挙であると考えられます。橘会奨励賞選考委員会は、本学に学ぶ学生が、自らの問題として我が国の奨学金制度の問題点や矛盾について考え、改革に向けた提言を発信し、然もその提言が高い評価を得たという事実に鑑み、「最優秀賞」を授賞することを決定しました。

総評

第20回「橘会奨励賞」には、例年に比べ大変少ない3団体からの応募しかありませんでした。橘会奨励賞選考委員会による慎重審議の結果、上記の授賞を決定致しました。

授賞から漏れた2団体は、それぞれが毎年実施される学生生活委員会の課外活動に対する顕彰に名を連ねる常連で、毎年着実な活動を展開し、一定の成果・社会貢献の実をあげている団体でした。両団体は今まで学内外の素晴らしい賞を受賞し、その活動が認められてきた団体ですが、本年度の活動成果は過去の輝かしい活動実績に比して物足りないものであった、とする意見もあり、本年度は「最優秀賞」1件のみの授賞となりました。授賞を逃した2団体には高いハードルを課した形になりましたが、それぞれの伝統と自負をもとに更なる飛躍をしてほしい、という期待を込めた判断でありますこと、申し添えます。

橘会は、本学の学生による学術・文化、スポーツ、ボランティア活動を支援し、その活性化を願っております。この奨励賞は、本学の課外活動団体で活動している学生諸君のみならず、個人で行っている学生諸君の地道な活動に光をあてて顕彰する制度でもあります。自薦・他薦を問いませんので、次年度は数多くの団体・個人からの応募をお待ちしています。

尚、表彰式は、平成28年5月14日開催予定の橘会定期総会にて執り行います。